

Question?
骨盤内に慢性的な炎症があると
妊娠しにくいって本当?

Answer

漢方と鍼灸治療で
内膜症などの慢性炎症を改善



1.落ち着いた雰囲気のある漢方薬局の店内。奥には個別相談できるカウンセリングルームが。2.漢方から鍼灸まで幅広く相談ののってもらえる、寄居本店のスタッフのかたがた。3.寄居本店はベッドが2床。ハリを刺したあとに体をあたためる遠赤外線治療器が完備。



代表 引間 紀之 さん

薬剤師・鍼灸師・学会認定不妊カウンセラー・埼玉不妊漢方の会会長。薬科大学卒業後、漢方専門薬局に勤めながら、鍼灸師の資格を取得。1995年に寄居町に升屋栄貴堂、ひきま鍼灸院を同時開業。2016年には女性専用の鍼灸院を坂戸にオープン。「病院で『自然妊娠は無理』と言われても自然妊娠できるケースが多くあります」。

升屋栄貴堂薬局

<https://www.kodakara.net/>
<https://kodakara-lab.com/>

住 埼玉県大里郡寄居町寄居929
交 JR・東武東上線「寄居駅」南口より徒歩3分
電 0120-37-8893
時 9:00~19:00
休 日曜・祝日

ひきま鍼灸院 坂戸店

住 埼玉県坂戸市南町3-2 スプリング坂戸4階
交 東武東上線「坂戸駅」南口より徒歩30秒
電 049-282-5552
時 9:00~19:00
休 水曜・日曜・祝日

骨盤内の慢性的な炎症が
不妊の原因に、
体質改善がたいせつです

子宮内膜症というのは、骨盤内の慢性的な炎症のひとつ。内膜症という状態があることで細胞が傷つき、その細胞を修復する過程で炎症が起こります。子宮内膜症以外にも筋腫やポリープなどが骨盤内の慢性的な炎症を引き起こすことがあります。

妊娠しにくさというのは、こうした骨盤内の慢性的な炎症が原因となっていることが多くあります。炎症が起こることで、卵の質を悪化させたり、着床をじやましたりするからです。妊娠しやすい体つくりのためには、そういった体質を改善していくことが第一です。

体質改善のために必要なことは、まずはよい材料で細胞を作ること。材料というのは、口から入れる食事が元になります。質のよい材料があれば、炎症を止めてくれる作用がありますし、反対

に質の悪い材料だと炎症を起こしやすくなります。レトルト食品やファストフードなど手軽にすませられる現代人の食事は、どちらかという、悪いほうに傾いていますので、意識して気をつけたいところですね。

そして炎症が起こったときに、それを治そう、抑えようとするのが、免疫力ですが、リズムやストレス、冷えなど、それをとつても、現代人は免疫力を乱すような生活スタイルになっています。ですから食事とともに、生活スタイルを見直すことも大事になります。

漢方や鍼灸で
免疫力を上げて
炎症状態を改善

一度起こった炎症は、なかなか自分で治していくものですが、漢方や鍼灸を使うことで免疫力を上げて炎症を取り除くことができます。

漢方の場合、補腎薬と活血薬を組み合わせて、体をあたためたり、

血流をよくしたりして、炎症が起こりやすい状態を改善していきます。たとえば鹿の角や三七人參などを使います。

鍼灸も、補腎と活血に作用するツボを選びます。鍼とお灸を組み合わせるほか、遠赤外線温熱治療器や鍼に電流を通すパルスという治療器を使うこともあります。腎の働きを調整したり、血の巡りをよくしたりするツボが集まる、骨盤の後ろ側やへその周り、足のつけ根などを中心に刺激していきます。

漢方と鍼灸は同じ東洋医学ですが、落ちている機能を高める、足りないものをふやすといった漢方に対し、鍼灸は気血の流れをよくするなど、違う働きがありますので、二つを組み合わせることで相乗効果が得られます。漢方薬局と鍼灸院を併設する当院を訪れる患者さんには、両方おすすめしています。

29才で子宮筋腫があるというHさんのお話です。1年ぐらいい生理が来ないこともあり、病院で治



療もしていただけれど、なかなか妊娠に至らず来店されました。医療系という仕事柄、ストレスが多く、腰痛や肩こり、冷え、立ちくらみ、生理痛があり、慢性的に炎症の起こりやすい状態でした。そこで2週ごとのカウンセリングを続けながら、漢方薬を服用。週に一度は鍼灸を受けていただいたところ、約1年半で妊娠。体外受精を計画した矢先の自然妊娠でしたから、とても喜ばれましたね。

病院で子宮内膜症の疑いがあるといわれた37才のMさんは、鍼灸のみでしたが、治療開始から1カ月半で妊娠されました。生理痛がひどく、周期も不順。冷えや耳鳴り、肩こりといった辛い症状もありましたが、鍼灸治療で血流を改善し、ホルモンのバランスをととのえることで、炎症を抑えられたのです。ご本人が養生にしっかりと取り組まれたことも大きいですね。

漢方と鍼灸で、一時的に
落ちている力を上げて
妊娠できる体へ

妊娠する力というのは、機能的・器質的に何か問題がない限り、誰でも必ず持っているものです。それが慢性的な炎症によって一時的に落ちているだけなので、炎症が起こりやすい状態を解消すれば妊娠する力は取り戻せます。ただ慢性的な炎症は、病院の検査ではわかりにくく、はつきりとした病名がなくても、細胞の質がよくなると炎症を起こすことがあるので、生理痛や頭痛、肩こりなどの症状があるときは、一度慢性的な炎症を疑い、漢方と鍼灸を試してみるといいかもしれませんね。



4.リラックスできる空間の中で鍼灸治療を受けられます。施術時間は1回40~50分。5.女性専用の坂戸店はスタッフも女性ばかり。安心して体の悩みを打ち明けられます。6.県内外からの来訪者のほとんどが不妊相談。東洋医学の診断に基に体質をチェック。